

おのぶん（尾道市立大学）

◎チーム紹介

私たち「おのぶん」は、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科に所属し、教職を目指す6人のメンバーで活動しています。学習支援、また、今年度からは紙芝居・絵本の読み聞かせなどを行っています。定まった活動は無いため、派遣先の方々と相談をし、幅広い活動をしていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

◎活動の様子

活動教室：長江放課後子ども教室（尾道市）

日 時：平成24年8月3日（金）9：00～12：00

場 所：尾道市立長江小学校

参加人数：4名（大学生ボランティア）、30名（子ども）



紙芝居をしました。「ながぐつをはいたねこ」「はかばかいくむすめ」「かわいそうなぞう」の3つのお話でした。学生たちは感情を込めて場面の様子がよく伝わってくるように話し、子どもたちはどの話も集中して聞いていました。紙芝居の後、どの話のどの場面が面白かったか、発表しました。



紙芝居の前には、子どもたちの勉強を見ました。分からないところは丁寧に教えていました。

紙芝居の後、少し時間があつたので、ステレオゲームと全身じゃんけんをしました。全身じゃんけんでは、最後まで勝ち残ろうと、子どもたちは一生懸命でした。じゃんけんチャンピオンがたくさん誕生しました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちが最後まで静かに聞いてくれてよかったです。
- ・ 子どもたちは自分たちが考えていた以上の反応をしてくれました。子どもたちが反応するところが、自分たちの予想していたところと違っていたので、次回は、子どもたちの反応するところを考えて活動したいです。
- ・ メンバーみんな、教職に就きたいので、子どもと接していい勉強になります。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 夏にふさわしい話や広島県に住んでいる子どもたちにふさわしい話等の紙芝居をされて、良かったです。感情豊かにメリハリのある語り方をされており、子どもたちの心にぐっと来たと思います。
- ・ 学生さんは、笑顔で子どもたちと楽しく触れ合い、子どもたちもとても喜んでいました。
- ・ 子どもたちから「楽しかった」「どのお話もよかった」という感想が多かった。

おのぶん(尾道大学)

平成
23年度

◎チーム紹介

「おのぶん」は、尾道大学芸術文化学部日本文学科の6名からなるチームです。

活動内容は、子どもたちの宿題のお手伝いをする学習支援や子どもたちと一緒に遊んだりするなど私たちができる活動を行います。

◎活動の様子

活動教室：三原市いとさき放課後子ども教室

日 時：平成23年9月21日(水) 15:00~17:00

場 所：糸崎小学校

参加人数：5名(大学生ボランティア)、38名(子ども)



最初は宿題からスタート。子どもたちは、大学生から頑張っている姿をほめてもらったり、分からないところを優しく教えてもらったりして、にこにこしながら宿題に取り組んでいました。早く大学生と遊びたかったのか、いつもより早く宿題を終える子どもも多かったようです。



宿題の後は、体育館でバスケットボール、おにごっこ、フラフープなどをしました。自由遊びだったので、自分が好きな遊びを大学生と一緒にして楽しみました。広い体育館の中に、子どもたちの嬉しそうな声が響いていました。子どもたちからは、「楽しかった」「また来てほしい」という感想が多くありました。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

子どもたちとの活動時間は、短い間でしたが、交流を持つことで楽しい時間を過ごせた。子どもたちとの活動を通して、コミュニケーションや集団行動について今までと違った視点を得ることができた。子どもたちと触れ合うことで、私たちも様々なことを学ぶ事ができました。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

大学生は、子どもに声を掛けたり勉強を見たりして、真剣な様子で子どもにとけこんでいました。体育館で一緒に体を動かした後、子どもたちは、「今日は楽しかった～」と言っていました。

体を動かすこと(体育館での遊びや競技)で、高学年の男子には若い大学生との触れ合いは必要なのでよかったと思います。日常の放課後子ども教室のスタッフでは無理なことが多いですが、今回の活動は、活気がありとても良かったです。子どもたちも喜んでいました。